

スキマ時間で地域の育児手助け コメッド、医療職非常勤と妊産婦のマッチングサービス

2018/9/28 18:30 | 日本経済新聞 電子版

医療サービスのスタートアップ、コメッド（京都市）は、非常勤の医療職と妊産婦を地域でマッチングするサービス「Home Care（ホームケア）」を12月にも始める。病院には行けないが育児を相談したいニーズは増えている。一方、看護師や助産師でも空いた時間に働きたいという人は多い。双方の需要に対応できるとみる。

Home Careはまず京都市や長岡京市など京都府内で始める。利用者はウェブサイトやスマートフォンアプリを通じて「離乳食」「歯の手入れ」など相談したい内容に対応した助産師、看護師、保健師、管理栄養士といった専門家を顔写真付きで選べる。料金の目安は1時間3000円程度。コメッドには料金のうち2割の手数料を得られる仕組み。



妊産婦の悩みに応じて医療職が訪問し育児をサポートする（イメージ）

自宅や妊産婦同士の集まりなどに直接訪問するサービスのほか、自宅にいながらインターネット電話などで相談できるサービスも視野に入れる。

さらに非常勤の医療職を囲い込み、研修などで登録者のレベルアップにつなげる。サービスが一定の規模に広がれば、定額制の利用料モデルも視野に入れる。将来的に大阪や東京などにも進出する計画だ。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

NIKKEI Nikkei Inc. No reproduction without permission.